

経営比較分析表（令和6年度決算）

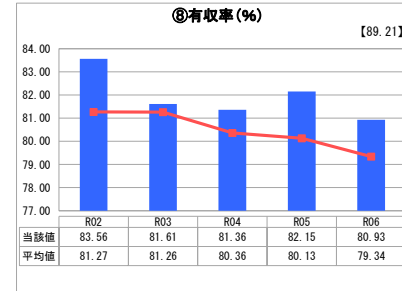
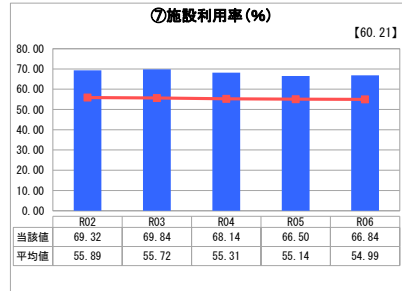
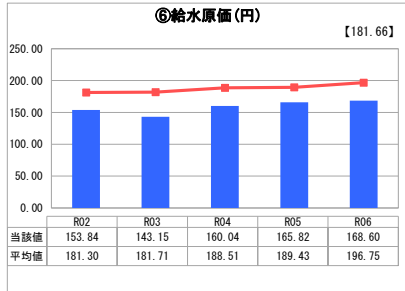
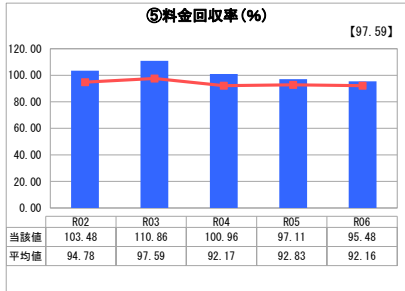
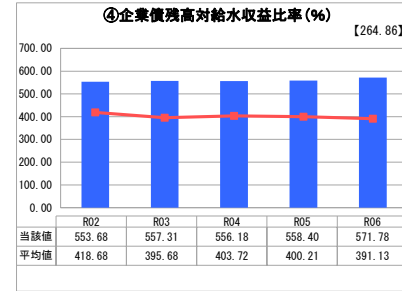
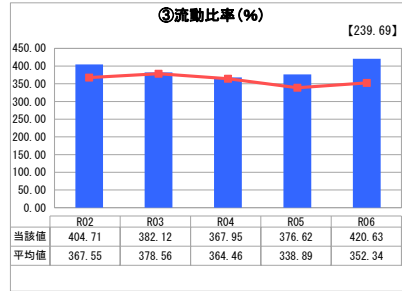
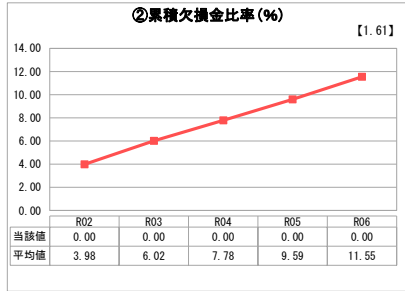
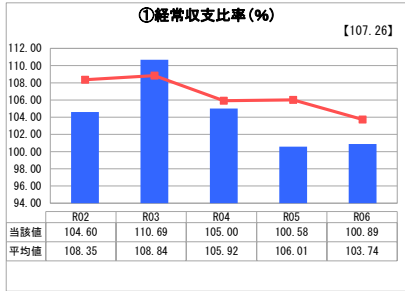
富山県 上市町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	61.72	91.67	3,190	

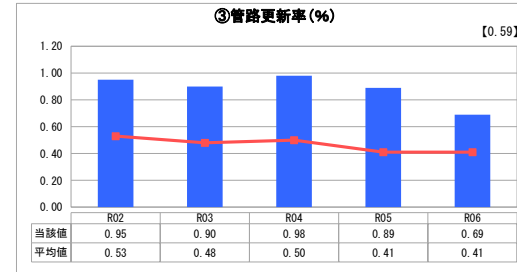
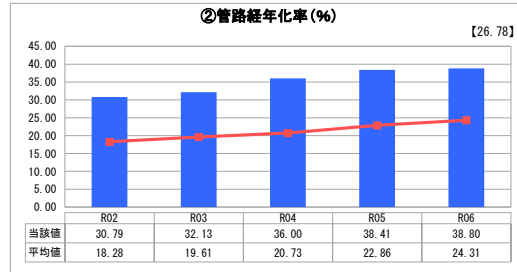
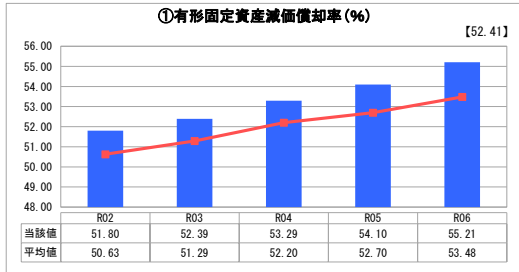
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,657	236.71	78.82
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,004	32.47	523.68

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を超えているが、収益の減少と費用の増加が続いているため、ギリギリな状態が続いている。R7年度から水道料金が10%値上げとなるが、経費の削減等も引き続き取り組む必要がある。
 ②累積欠損金比率は、累積欠損金の残高がない状態であり健全な状態である。
 ③流動比率は、類似団体の平均値を上回っており、事業の運営を滞りなく行える状態である。
 ④企業債残高対給水収益比率は、類似団体の平均値より高い状態が続いている。経年管の耐震化に投資しているため企業債残高が徐々に増加してきている。管路・施設の更新のため借入はやむを得ないが、現金の残高等を勘案しながら計画的に借入したい。
 ⑤料金回収率は昨年度に続き100%を下回った。人口減少に伴う給水収益の減少と経費の増加が続いており、数値は悪化している。大幅な経費削減が見込めない以上、料金の値上げを行うことで回収率を上げたい。
 ⑥給水原価は類似団体の平均値を下回っているが、電気料金を始めとした経費の増加が続いている。
 ⑦施設利用率は類似団体の平均値より高く、施設の効率が図られているといえる。
 ⑧有収率は類似団体の平均値を上回っているが80.9%と低いため、漏水の発見と経年管の更新を推進し今後も有収率の向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は年々高くなっている。計画的に施設更新を行っているが、老朽化に追い付かない状態である。
 ②管路の経年化率は、類似団体の平均値より高く、経年化が進んでいる。
 ③H29年度に配水場の耐震更新を行った後、H30年度に管路更新計画を作成した。計画に則って老朽管の更新を進めている。
 全体的に老朽化率は高く、特に管路は耐震化も含めて計画的に更新を進めていく。事業体の規模が小さいため、老朽管の更新を大幅に進めることは難しいが、補助金を活用し収支のバランスも鑑みながら今後も更新対策を行っていきたい。

全体総括

本町の水道事業会計は純利益を確保し続けており、財務状況については一定の健全性を保っていると考えられる。
 しかしながら、人口減少とともに給水収益も減少しており、同時に経費も増加し続けているため、収支が悪化している。
 老朽化が進んだ管路・設備の更新と耐震化工事などを計画的に行っているため、一定の工事支出が見込まれる。老朽化対策は必須であるため、企業債残高や収入と支出のバランスを考えながら、料金の改定も行っていく。
 R7年4月から水道料金を10%値上げしている他、国の制度も活用し、財源の確保に努めたい。